

# 交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2012年11月15日

No.6

2012年度 年末手当妥結！

# 基準内賃金×1.59ヶ月

## 2012年度 年末手当交渉最終報告

中央本部は、年末手当獲得に向け断続的に交渉・折衝（トップ交渉を含む）を行い、職場からの闘いと結合し、最後まで要求実現に向けて粘り強い闘いを展開してきました。本日18時30分より年末手当の最終交渉に臨み、席上会社は基準内賃金×1.59ヶ月分とする回答を示しました。

回答にあたり会社は、①経済状況は欧州経済危機を背景に景気回復のペースは鈍化している。②物流業界においても国内総物流量が震災後の状態から十分に回復していない。③下期においても厳しい現状に変わりはなく、このような現状の中で安全輸送の確保や収入拡大を進めるとともにコスト削減に取組み、全社一丸となって計画を達成していく。との考え方を示しました。

これに対して中央本部は、①2.6ヶ月の要求からすると必ずしも満足できない内容であるが取り巻く現状を鑑みて妥結する。②JR貨物発足25年を迎え、今がJR貨物の将来を決する分水嶺である。経営陣は収入拡大に向けて眈を決して取り組むこと。③安全問題、とりわけ冬季対策をはじめとした経営責任を明確にし、具体的な安全施策の充実を図ること。④12春闘で確認した「著変事項」に基づき、要員措置（新規採用の増）を行なうこと。⑤将来ある若者が働きがいのある会社を作るために経営陣は努力することを確認し、年末手当について妥結しました。

組合員の皆さん、最後まで職場からの要請行動・FAX行動・激励行動・炊き出しなど創意工夫した取り組みで今手当交渉を支えていただいた事に対して感謝を申し上げます。これからも会社の無責任な経営姿勢を糾し、「組合版ロードマップ」の実現に向けて、具体的な闘いを今後も職場から創り出そうではありませんか！中央本部はその最先頭で奮闘することを明らかにし、年末手当交渉の最終報告とします。

以上